

令和 2 年 12 月 17 日

中国・四国地方を中心とした広域医療圏が協力しての遺伝性がん予防の取り組み 「中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究」が始まりました

◆発表のポイント

- ・中国・四国地方および東京都・兵庫県の医療機関 16 施設が協力して、遺伝性腫瘍に対する取り組みをスタートしました。
- ・遺伝性腫瘍家系を対象に、人口 1,100 万人の医療圏全体で長期に渡ってきめ細かく丁寧に支援する体制を作っていくことで、日本人に対する最適な医療（マネジメントやサーベイランス）に関するエビデンスを構築します。
- ・「地域医療としての遺伝性腫瘍診療」を、地域のみなさんとともに作っていくことが期待されます。

がんの約 1 割は遺伝因子によって生じることが知られており、一般に「遺伝性腫瘍」と呼びます。遺伝性腫瘍の原因遺伝子を調べることで、がん予防に結びつけることが可能な場合があります。遺伝性腫瘍はリスク低減をはかることでがん予防が可能となることが多いものの、日本人に関するデータはまだ十分ではありません。

このたび、岡山大学病院を含む中国・四国地方および東京都・兵庫県の医療機関 16 施設が協力して、遺伝性腫瘍予防に対する取り組み「中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究^{*1}」がスタートしました。中国・四国地方を中心とした広域医療圏から日本人のがん予防に係るエビデンスを発信することで、国民の健康管理に役立つものと期待しています。

◆研究者からのひとこと

遺伝の情報はあなたの大切な情報ですが、あなただけのものではありません。遺伝情報は血縁者や地域で共有しているものです。

「がんになりやすい」という遺伝情報（遺伝性腫瘍の関連遺伝子）をきちんと調べることで、あなたのがん予防が可能になるだけでなく、血縁者の方にとっても、がん予防のきっかけにもなることがあります。遺伝性腫瘍の診療は「究極の地域医療・家庭医療」といえます。



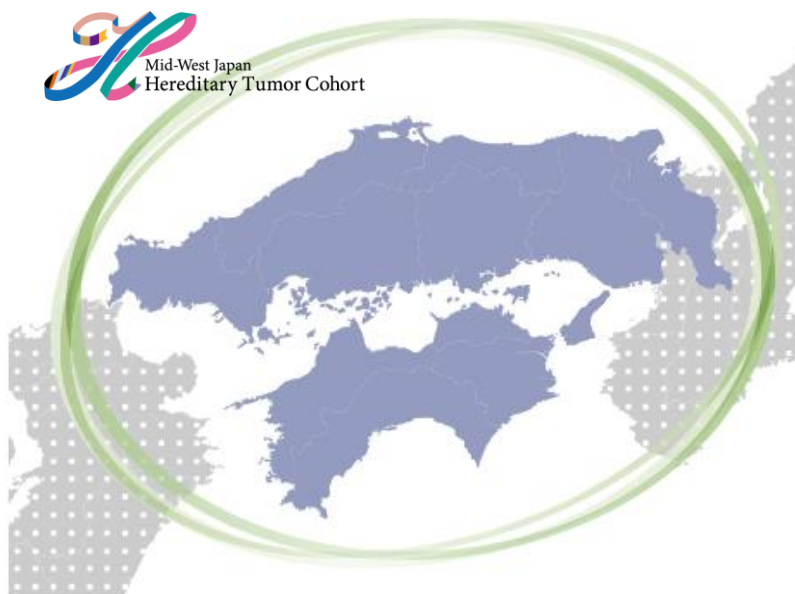
平沢 晃 教授



【研究の概要】

中国・四国地方の人口は合わせて約 1,100 万人で、スウェーデンやベルギーなどの欧州中規模国に相当する人口です。このたび、岡山大学病院を含む中国・四国地方および東京都・兵庫県の広域医療圏の医療機関 16 施設が協力した「中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究」がスタートしました。

中央西日本遺伝性腫瘍コホート 研究参加施設



- 岡山大学病院・岡大バイオバンク 
- 兵庫県立がんセンター 
- 四国がんセンター 
- 香川県立中央病院 
- 武蔵野赤十字病院 
- 広島市立広島市民病院 
- 広島大学病院 
- 高知大学医学部附属病院 
- 徳島大学病院 
- 岩国医療センター 
- 姫路赤十字病院 
- 山口大学医学部附属病院 
- 徳山中央病院 
- 鳥取大学医学部附属病院 
- 松江市立病院 
- 島根県立中央病院 

《中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究参加施設》

(2020 年 12 月現在 16 施設： 参加施設は継続的に募集中)

研究グループでは遺伝性腫瘍の方とその家系を対象に、関連腫瘍発症率、生存率、マネジメントに関する評価、リスク低減手術による QOL 評価、およびゲノム疫学的解析等を行います。研究参加者に対しては、年 1 回の定期的な追跡調査で病気の有無や血液検査の結果などの臨床情報を確認し、血液や組織を「岡大バイオバンク」*2 で保管して、将来的な研究・開発に役立てます。

このように、わが国での遺伝性腫瘍の基盤データを集積することで、臨床の現場での対応策を明らかにしていくことが可能になります。

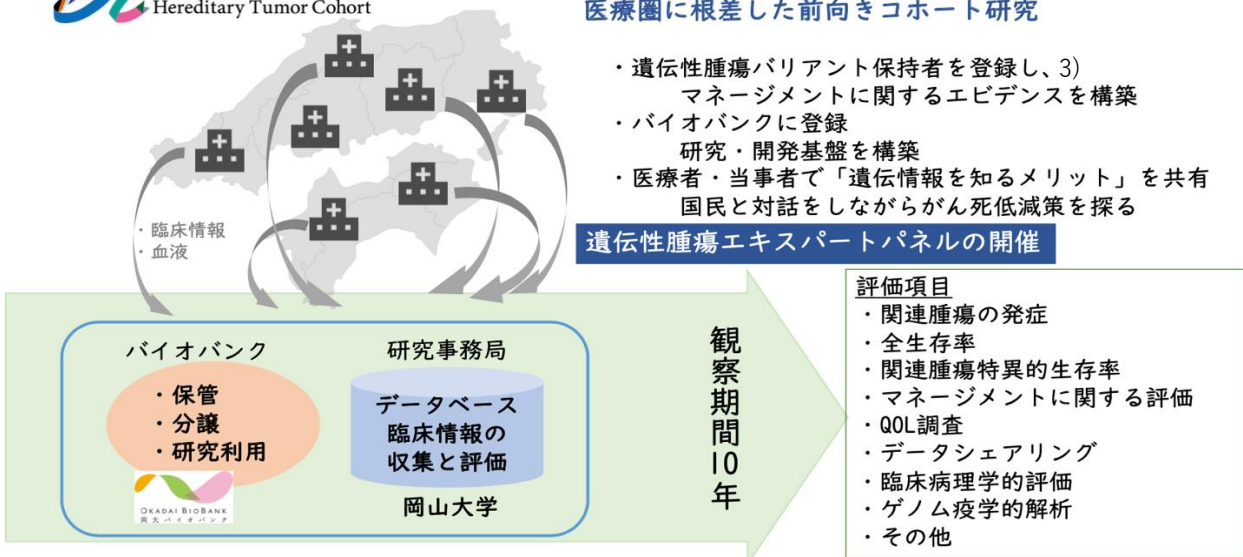


中央西日本遺伝性腫瘍コホート

医療圏に根差した前向きコホート研究

- ・ 遺伝性腫瘍バリエント保持者を登録し、3) マネージメントに関するエビデンスを構築
- ・ バイオバンクに登録
研究・開発基盤を構築
- ・ 医療者・当事者で「遺伝情報を知るメリット」を共有
国民と対話をしながらがん死低減策を探る

遺伝性腫瘍エキスパートパネルの開催



■用語説明

1) コホート研究：コホートとは「集団」を意味します。「コホート研究」とは研究対象者となる集団を将来にわたって長期間観察し追跡を続けることで、ある要因の有無が病気の発生または予防に関係しているかを調べる研究。

2) 岡大バイオバンク：岡山大学病院では患者さんの生体試料と診療情報を管理・利活用して、一歩進んだ医療の提供を目指す、「岡大バイオバンク」を設置しています。

3) バリエント：遺伝子の特徴。遺伝学的検査は、検査を受けた方の遺伝子と代表的な遺伝子を比べて「塩基配列や構造の違い（特徴）」を探ることを目的としています。その違い（特徴）はバリエントと呼ばれています。バリエントの中には、病気の原因となるものがありますが、個人差の範囲に含まれるものもあります。

■参考 URL： <https://cgm-okayama-u.jp/cohort/>

<お問い合わせ>
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学
 専攻 腫瘍制御学講座（臨床遺伝子医療学分野）
 教授 平沢 晃
 （電話）岡山大学病院 臨床遺伝子診療科
 086-223-7151（代表）

